学校番号	２０６

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	明治書院「新　精選　古典Ｂ　古文編・漢文編」						
副教材等	最新　国語便覧（浜島書店）　体系古典文法（数研出版）　体系古典文法ワーク（数研出版）　例文による漢文の習得（浜島書店）　漢文基本ノートβ（浜島書店）　アシスト　古文単語 345（京都書房）　アドバンス古典２（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生の国語総合Ｂで学習した知識を活かして、より高度な古文・漢文の読解を行います。
予習→授業→復習のサイクルを心がけてください。特に予習をする習慣をつけましょう。また、古典を学習する際、辞書は必ず手元に置き、活用すること。
古文は予習として、本文を音読しましょう。意味のわからない語を古語辞典で調べ、助動詞をはじめ文法を整理し、現代語訳にも取り組みましょう。漢文に関しては音読し、句法や漢字の意味を確認したうえで、書き下し文および現代語訳に取り組みましょう。
また、今年度から古文単語の小テストを行います。正確な読解のためにも、単語の知識も増やしましょう。
問題集などの提出物は期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。

２　学習の到達目標

１．古文単語・古典文法・漢文句形などの知識の定着をはかり、読解の際に活用できる。
２．古典としての古文・漢文を読む能力を養う。
３．古典の理解を通して、ものの感じ方・見方・考え方を豊かにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語を伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりを理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート） 定期考査	行動の観察記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	a	b	c	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期中間考査	物語・説話を読む/敬語を学ぶ	教材: 物語 「かぐや姫の昇天」 (『竹取物語』) 説話 「大江山」 (『十訓抄』)	○	◎	○	a:人物、情景、心情など、作中の世界観を味わおうとしている。また、敬語を理解しようとしている。 b:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、文章の内容を自らの言葉で説明することができている。 c:古文の敬語について理解できている。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
	史話を読む①	教材: 史話 「鴻門之会」 (『史記』)	○	◎	○	a:場面の展開や心情の推移など、文章の内容を的確に捉えようとしている。 b:場面の展開や心情の推移など、文章の内容を的確にとらえている。 c:訓読のきまりや句法を習得している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査:
前期期末考査	さまざまな文章・韻文を読む	教材: 随筆 「ゆく河の流れ」 (『方丈記』) 日記 「門出」 (『更級日記』) 和歌	○	◎	○	a:文章や和歌に描かれている人物（作者）の心情を表現に即して読み、読み深めようとしている。 b:文章や和歌に描かれている人物（作者）の心情を表現に即して読み、読み深めている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。修辞技巧、各時代の和歌の特徴を知っている。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
	史話を読む②	教材: 史話 「四面楚歌」 (『史記』)	○	◎	○	a:場面の展開や心情の推移など、文章の内容を的確に捉えようとしている。 b:場面の展開や心情の推移など、文章の内容を的確にとらえている。 c:訓読のきまりや句法を習得している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

後期中間考査	『源氏物語』を読む	教材: 物語 「光源氏誕生」 「小柴垣のもと」 (『源氏物語』)	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのか捉え、文章の美しさや日本語の奥深さに気づこうとしている。 b:登場人物の関係性や展開を把握し、登場人物の行動や心情表現に即して読み深めている。 c:敬語を中心として、人物関係を把握している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
	漢文の文章・漢詩を読む	教材: 史話 「管鮑之交」 (『十八史略』) 漢詩 絶句、律詩	○	◎	○	a:考えの進め方や、心情の推移など、文章の内容を的確に捉えようとしている。漢詩についてはリズムを味わいながら、描かれる情景・心情を読み取ろうとしている。 b:漢詩の基礎的な知識を身につけ、的確に内容を把握する。また漢詩特有のリズムを味わう。 c:漢詩についての基礎的な知識を理解している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
後期期末考査	歴史物語を読む	教材: 歴史物語 「花山天皇の退位」 (『大鏡』『栄花物語』)	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのか捉え、文章の美しさや日本語の奥深さに気づこうとしている。 b:登場人物の行動や心情を読み深め、当時の世の中や人々の様子について考えている。また、読み比べを通して理解を深める。 c:既習の文法知識を読解に活かす。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
	古代中国思想について知る	教材: 寓話 「五十歩百歩」 (『孟子』) 思想 『論語』ほか	○	◎	○	a:文章の内容を的確に捉えようとしている。また、古代中国の思想を理解しようとしている。 b:古代中国の思想から現代に通ずるものの見方考え方を知り、読み深めている。 c:訓読のきまりや句法を習得している。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力

d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。